

# ぼくが生きてる、 ふたつの世界

伝えられない想いが  
あふれます。

監督：呉美保 主演：吉沢亮 脚本：港岳彦

忍足亜希子 今井彰人 ユースケ・サンタマリア 鳥丸せつこ でんでん

原扶貴子 山本浩司 河合祐三子 長井恵里

原作：五十嵐大「ぼくが生きてる、ふたつの世界」(幻冬舎刊) 企画・プロデュース：山国秀幸

製作：「ぼくが生きてる、ふたつの世界」製作委員会(ワンダーラボタリヤ/博報堂DYミュージック&ピクチャーズ/ギャガ/JR西日本コミュニケーションズ/アイ・ビー・アイ/アミューズ/河北新報社/東日本放送/シネマエッセイ)

助成：文化庁文化芸術振興費補助金(映画創造活動支援事業) 独立行政法人日本芸術文化振興会

©五十嵐大/幻冬舎 ©2024「ぼくが生きてる、ふたつの世界」製作委員会 配給：ギャガ GAGA★ gaga.ne.jp/FutatsunoSekai/

母に背を向け、故郷を離れたぼく——。

繊細に紡がれる、きこえない母ときこえる息子、そしてあなたの物語。

GAGA★  
GENDA GROUP



＊コーダ：きこえない、またはきこえにくい親を持つ聴者の子供

親子の物語が、そしてひとりのコーダの心の軌跡が、点描のように紡がれていく――。監督は、本作が9年ぶりの長編作品となる、『そのみにて光輝く』『きみはいい子』の呉美保。作家・五十嵐大氏の自伝的エッセイを原作に、脚本は『正欲』の港岳彦。吉沢亮が、“きこえる世界”と“きこえない世界”を行き来しながら生きる主人公を体現、自身の居場所を見出していく若者の心を繊細に演じた。母・明子役には、ろう者俳優として活躍する忍足亜希子。  
やがて母への想いが観る者の胸にも静かに温かく満ちていく、心に響く映画が誕生した。



## 母と息子、切なくも心に響く家族の物語

Story

宮城県の小さな港町、五十嵐家に男の子が生まれた。祖父母、両親は、“大”と名付けて誕生を喜ぶ。ほかの家庭と少しだけ違っていたのは、両親の耳がきこえないこと。幼い大に

としては、大好きな母の“通訳”をすることも“ふつう”の楽しい日常だった。しかし次第に、周りから特別視されることに戸惑い、苛立ち、母の明るささえ疎ましくなる。心を持て余したまま20歳になり、逃げるように東京へ旅立つ大だったが…。



栗原市誕生20周年記念

映画「ぼくが生きてる、ふたつの世界」栗原市上映会

2026年 **3月15日(日)** 13:30 栗原文化会館 大ホール  
(開場 13:00 / 上映時間 105 分)

前売券

一般・シニア・大学生 **1,200 円** ※ 小中高生は当日券のみ

当日券

一般・シニア 1,500円 大学生 1,300円 小中高生 800円 ※ 未就学児無料

【前売券取扱所】栗原文化会館、若柳総合文化センター(ドリーム・パル)、栗原市社会福祉協議会本所・各支所、栗原市社会福祉課

【主 催】映画「ぼくが生きてる、ふたつの世界」栗原市上映推進委員会

【構成団体】栗原市身体障害者福祉協会、栗原市重症心身障害児(者)を守る会、栗原市精神障がい者家族会連合会、栗原市地域自立支援協議会、栗原市社会福祉協議会、栗原市民生委員児童委員協議会、栗原青年会議所、栗原地区保護司会、栗原地区更生保護女性会、栗原市 ※ 構成団体においても前売券を取り扱っています

【お問い合わせ】事務局：栗原市社会福祉課 電話0228-22-1340 FAX:0228-22-0340

チケットに関すること：栗原市社会福祉協議会総務課電話0228-23-8070、FAX:0228-21-4774